

し尿収集処理運営事業

問 し尿収集処理運営事業のくみ取り業務を債務負担にする内容は。

答 市の直営で行っている、し尿のくみ取り業務の受け付けから、くみ取り作業、し尿等受入施設への投入までを令和7年4月から民間に委託するため、今年度中に契約を行う必要があることから、債務負担行為補正するものである。

問 これまで市の直営で行っていた業務を民間へ委託するようになった経緯は。

答 し尿等のくみ取りの量は、ピーク時の3・7%ほどとなり、年々減少傾向にあり、バキュームカーの維持管理および更新費用には高額なコストがかかっていることも考慮して、くみ取り業務を専門の民間へ委託することで、経費の削減、効率化および事務改善を図るものである。

問 どのくらい経費が削減されるのか。

答 車両の更新も見据えた10年間の長期的な試算で、直営よりも民間に委託する方が、約3400万円の経費削減になると見込んでいる。

芦ヶ池農業公園整備運営事業

問 45億7千万円という金額が当初予算ではなく、補正予算で上がった理由は。

答 現在の施設が約30年を迎えており、施設の老朽化による不具合等が発生し、市民サービスの低下につながっている。これを早期に改善していくため、この時期に取り組むものである。公表してきたスケジュールに沿って進めていくためには、この事業の公募をかける段階で予算の確保が必要となり、この時期となった。

問 45億7千万円という数字は、何を基準に出しているのか。

答 現在取り組んでいるPFI事業に関するアドバイザリー委託業務の中で試算をしている。基本構想の中で試算をしている。基本構想の試算や、現在の市の運営に係る実績経費などに基づき、設計、建設、維持管理、運営等業務に係る22年間の費用の支出の総額を算定している。

(12/12 予算決算委員会)

討論

議案に対する本会議での議員の賛成・反対の表明です

議案 No.70

議員期末手当支給割合の引き上げ

反対 (岡本重明)

人事院勧告は行政職員に対する勧告である。会派に所属して多数の意見に混ざり込み、あたかも正論のように答弁を行うが、議員としての職務である政策提言すらまともに出せない現時点の我々のスキルにおいて、議員報酬の引き上げにつながる本議案には反対である。

賛成 (山上勝由)

国や他の地方公共団体との均衡を図るとともに、議員の成り手不足対策としても適正な報酬制度が必要である。また、さきの12月12日の予算決算委員会で審議した、議員の期末手当の引き上げ分を含む、議案第74号令和6年度田原市一般会計補正予算(第5号)を全会一致で可決しており、岡本議員の反対は整合性がない。よって本議案には賛成する。

賛否が分かれた議案

■ 議案第70号 「議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正」

結果 (賛成:反対)	小川 金一	内藤 浩	村上 誠	辻 史子	柳元 浩幸	山上 勝由	真野 尚功	古川 美栄	岡本 禎稔	鈴木 和基	小川 貴夫	中村健太郎	岡本 重明	古川 幸宏	中野 哲伸	平松 昭徳	内藤喜久枝	中神 靖典
可決 (16:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—

○…賛成 ×…反対 —…議長は議決に加わらない

■ 陳情を審査しました

▽ 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

他1件

文教厚生委員会で審査した結果、不採択となりました。

※ 陳情結果はホームページでもご覧いただけます。

